

InfoPrint® Security

近年ますます重要性を増し、その有効な対策が求められる情報漏洩問題。場合によっては、企業の信頼性を失墜しかねない大打撃となることもあります。InfoPrint Securityは、オフィスプリンターからの紙媒体による情報漏洩への対策を施すソフトウェアです。

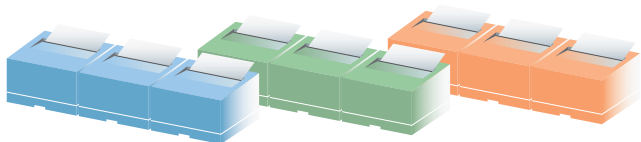


さまざまなオフィスに柔軟に展開

プリンターの機種に依存しない仕組み

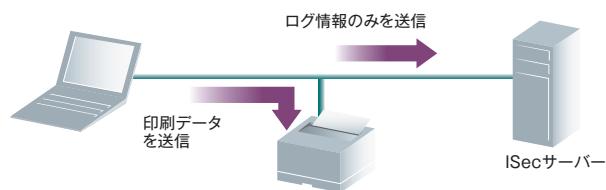
Windowsアプリケーションと既存のプリンター・ドライバーの間にISecドライバーが導入されるため、プリンターの機種に依存しません。ソフトウェアにより実現させるため、導入コストや管理コストが抑えられます。

※一部サポート外のプリンターがあります。



ネットワークへの負荷を最小限に

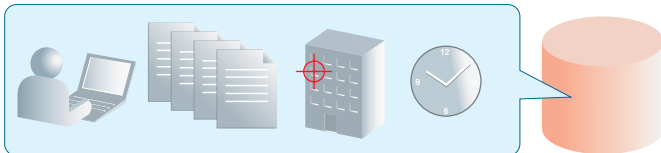
ログ採取時も印刷データを流すことなく、必要な情報のみ(数KB)をやりとりますので、ネットワークへの負荷は最小限に抑えられます。また本製品導入後もプリント・データの経路は変わりません。



InfoPrint Securityの機能と効果

印刷ログ機能

「誰が」「何を」「どこで」「いつ」「何ページ」出力したのかというプリント状況のログを保存。万が一問題が発覚した場合に原因究明が可能になります。



ユーザー情報強制印刷機能

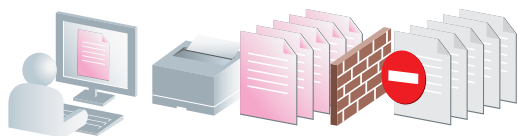
プリントされた紙自体にユーザー情報を強制的に付加。プリント物の責任者を明確にします。

出力できる情報

- ユーザー名
- プリンター名
- 時刻 (hh:mm:ss)
- ドキュメント名
- OS名
- ページ番号 (半角数字)
- コンピュータ名
- 日付 (yyyy/mm/dd)
- 総ページ数 (半角数字)

印刷枚数管理機能

ユーザーごとに印刷可能枚数を制限できます。不要なプリントを抑制し、情報漏洩の原因を減らすとともに、コスト削減にもつながります。



強制ヘッダー・フッター

プリント物のヘッダー、フッター部分にユーザー情報を付加します。



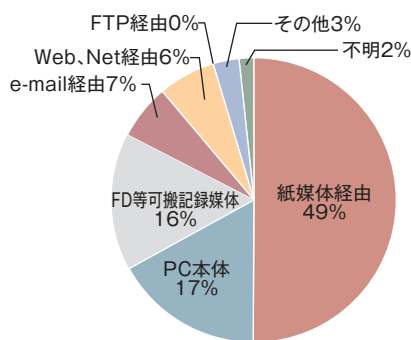
強制ウォーターマーク

切り落としできないように、全体的に薄くユーザー情報をプリントします。



増加する紙媒体からの情報漏洩

Webやe-mailなどのネットワーク経由、CD-ROMやフロッピーディスクなどの各種メディア経由、あるいはPC本体の紛失など、情報漏洩はさまざまな経路から発生しています。近年の傾向ではそれらの経路の中でも紙媒体経由の情報漏洩が約半数を占めるまでに増加しています。



出典元: NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 セキュリティ被害調査ワーキンググループ
「2005年度個人情報漏えいインシデント調査結果【速報】」

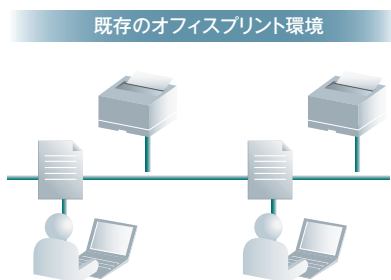
プリント環境のセキュリティー課題に応えるInfoPrint Security

InfoPrint Securityはオフィス環境における紙媒体に対するセキュリティーを強化するため、現状のさまざまな課題を解決いたします。

プリント環境における課題

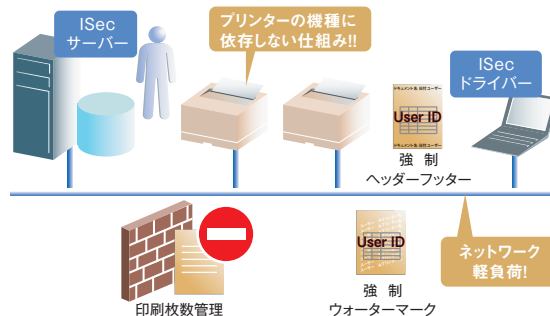
- プリンターからの出力は、誰が何を印刷したのかを特定することが困難。
- 必要のないプリントが大量に行われ、さらにそのプリント物の紛失問題も発生している。
- 機密性の高いプリント物が放置されている。
- フロアや部署によってプリンターの機種が異なっているため、統合的な管理が難しい。
- 異なる機種を個別に管理すると膨大な管理コストがかかる。
- プリント環境のセキュリティーの強化のために、社内ネットワークの負荷を増やしたくない。

InfoPrint Security導入前のイメージ



安全な
オフィスプリント環境
を実現します。

InfoPrint Security導入後のイメージ



サーバー

Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版 (SP4)
Microsoft Windows 2000 Server 日本語版 (SP4)
Microsoft Windows 2000 Advanced Server 日本語版 (SP4)

サポートOS*

Microsoft Windows XP Professional 日本語版 (SP2)
Microsoft Windows Server 2003, Standard Edition 日本語版 (SP1)
Microsoft Windows Server 2003, Enterprise Edition 日本語版 (SP1)
Microsoft Windows Server 2003 R2, Standard Edition 日本語版
Microsoft Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition 日本語版

前提SW

Internet Information Services v6.0
Microsoft .NET framework 2.0
DB2 UDB Express Edition V8.2
またはDB2 V9.1 for Windows

クライアント

Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版 (SP4)
Microsoft Windows 2000 Server 日本語版 (SP4)
Microsoft Windows 2000 Advanced Server 日本語版 (SP4)

サポートOS*

Microsoft Windows XP Professional 日本語版 (SP2)
Microsoft Windows Server 2003, Standard Edition 日本語版 (SP1)
Microsoft Windows Server 2003, Enterprise Edition 日本語版 (SP1)
Microsoft Windows Server 2003 R2, Standard Edition 日本語版
Microsoft Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition 日本語版

前提SW

なし(Webブラウザは Internet Explorer 5.01 以降を前提としています)

* - 32-bit 版のみのサポートになります

プリンター製品の詳細については、
下記のWebサイトをご覧ください。
www.infoprint.com/jp

お問い合わせは、弊社ビジネス・パートナーならびに製品販売店、弊社営業担当員、
または、ダイヤルIBM (☎0120-04-1992)へ。

受付時間: 月～金9:00～18:00(祝日、12/30～1/3を除く)
携帯電話等でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。

ダイヤルIBM 03-6220-8002(この場合、通話料金はお客様のご負担となります。)

'07-06月版

InfoPrintはInfoPrint Solutions Company,LLCの米国およびその他の国における商標。IBM、IBMロゴは、IBM Corporationの商標。
Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標。他の会社名、製品名およびサービス名等は、それぞれ各社の商標。
InfoPrint Solutions CompanyはInfoPrint Solutions Company,LLCの米国およびその他の国における商号。InfoPrint Solutions Company,LLCはRiich Co.Ltd.とInternational Business Machines Corporationの合併会社。

RICOH | IBM
InfoPrint Solutions Company

インフォプリント・ソリューションズ・ジャパン株式会社
〒104-8222 東京都中央区銀座 8-13-1

●このカタログで使用されている製品の写実は、出荷時のものと一部異なる場合があります。また仕様は事前の
予告なしに変更する場合があります。●このカタログの情報は2007年6月現在のものです。●製品、サービス等
詳細については、弊社もしくは弊社ビジネス・パートナーならびに製品販売店の営業担当員にご相談ください。